



報道機関 各位

資料提供 令和元年5月21日
健康福祉部 保健・疾病対策課 健康危機管理班
担当者 木内
TEL 018-860-1427
美の国あきたネット掲載 ☒ ・ 無

つつが虫病患者の発生について（注意喚起）

令和元年5月20日、つつが虫病患者の発生届がありました。
県民への注意喚起に協力をお願いします。

届出年月日 令和元年5月20日（能代保健所管内医療機関）
患者の住所 青森県
患者の年齢・性別 80代・女性
症状 発熱、刺し口、肺炎
刺し口部位 臀部
初診年月日 令和元年5月15日
診断年月日 令和元年5月18日
備考 令和元年5月18日死亡
過去3年の発生状況

	初発年月日	最終患者数
平成30年	H30.5.25	5人
平成29年	H29.5.8	9人
平成28年	H28.4.28	3人

【県民の皆様へ】

○ つつが虫病とは

病原体を持ったツツガムシに吸着され、体内にその病原体が入った場合に発病する病気です。ツツガムシは野山や田畑、河川敷に生息し、秋田県では5～6月が最もつつが虫病の発生が多い時期です。

○ 症状

つつが虫病は病原体を持ったツツガムシの幼虫に吸着された後、7～10日後に発症します。人から人への感染は起きません。

主な症状は、38～40℃の高熱とその後に現れる発しん、吸着された部分に1cmほどのカサブタがあることです。

治療が遅れると入院が必要となる場合もあり、死亡することもあります。

疑わしい症状が出た場合は早めに医療機関を受診し、発症前の生活（野山や田畑、河川敷に出かけたことなど）を医師に伝えてください。

○ 予防法

もし、ツツガムシが身体に取り付いても、吸着開始から病原体に感染するまでには6～10時間ほどかかるため、次の対策が有効です。

- ① 野山や田畑などからの帰宅後は速やかに入浴し、念入りに身体を洗い流す。
- ② 脱衣後の衣類は室内に持ち込まない、又はすぐに洗濯をする。
虫除け剤を、こまめに使用することも効果的です。